

能登支える郷土芸能



躍動感ある中野七頭舞で盛り上げる岩泉高

岩泉高(岩淵雅明校長、生徒116人)が主催する「地域復興支援 郷土芸能フェス」が28日、岩泉町の町民会館で開かれた。県内3高校や、能登半島地震の影響を受けた富山県の南砺平高を招待して競演。伝統を受け継ぐ若き担い手総勢約130人がステージで躍動した。

岩泉の中野七頭舞で幕開けし、栗石が上駒木野さんけんか七夕太鼓、北上翔南が鬼剣舞を披露。南砺平の郷土芸能部34人は、小気味よいささやらの音色が印象的

岩泉高主催のフェス

富山1校、県内4校競演



地震被害の大きい輪島市にゆかりがある「お小夜節」などを披露する富山・南砺平高の生徒たち

富山1校、県内4校競演。富山・南砺平高の生徒たちが、お小夜節などを披露する。富山・南砺平高の生徒たちは、お小夜節などを披露する。富山・南砺平高の生徒たちは、お小夜節などを披露する。

富山・南砺平高の生徒たちは、お小夜節などを披露する。富山・南砺平高の生徒たちは、お小夜節などを披露する。富山・南砺平高の生徒たちは、お小夜節などを披露する。

富山・南砺平高の生徒たちは、お小夜節などを披露する。富山・南砺平高の生徒たちは、お小夜節などを披露する。富山・南砺平高の生徒たちは、お小夜節などを披露する。